

“ドイツ大聖堂の響き”連続演奏会

この夏、あなたは合唱の原点とその進化を目の当たりにする!

I 姉妹都市提携30周年記念

第6回松山・フライブルク姉妹都市交流演奏会

フライブルク大聖堂少年合唱団と松山少年少女合唱団

日 時:2018年8月23日(木)開演18:30(開場18:00)

会 場:松山市総合コミュニティセンターカメラホール

入場料:前売 一般1,000円(当日1,500円)、高校生以下無料
(無料チケットは下記チケット販売所もしくは当日会場で配付します。)

II アンサンブル・ヴォカペッラ・リンブルク演奏会

—ドイツ・ロマン派作品を始めとする珠玉の男声合唱曲—

日 時:2018年8月29日(水)開演18:30(開場18:00)

会 場:松山市民会館中ホール

入場料:前売 一般2,000円(当日2,500円)、
高校生以下1,000円(当日1,000円)

- チケット販売: いよてつ高島屋プレイガイド、フジグラン松山・フジグラン重信・エミフルMASAKI各店サービスカウンター、一色楽器、カワイ松山ショップ、松山楽器
- 主催(マネジメント): 松山バッハ合唱団(責任者:橋本眞行) ●共催: 松山市、(公財)松山国際交流協会、松山フライブルク会
- 後援: 愛媛県・愛媛県教育委員会・愛媛県合唱連盟・松山市教育委員会・松山市文化協会・松山道後ライオンズクラブ・NHK松山放送局・南海放送・テレビ愛媛・あいテレビ・愛媛朝日テレビ・愛媛新聞社・愛媛CATV
- お問い合わせ: 松山バッハ合唱団事務局(橋本) Tel.089-931-2188、メール bachchor.matsuyama@gmail.com
松山バッハ合唱団ホームページ (<http://bachchormatsuyama.info/>) でもご案内しています。

演奏団体紹介

フライブルク大聖堂少年合唱団 Freiburg Domsingknaben



ドイツにおける名門少年合唱団のひとつに数えられるフライブルク大聖堂少年合唱団の伝統は、少年と男声の声域で構成される大聖堂の音楽アンサンブルとして8世紀にまでさかのぼることができ、20世紀までは、早朝の御ミサ、夕べの御ミサ及び日曜日と祝日の御ミサにおける歌唱を中心に典礼音楽を担当した。20世紀に入り、国家社会主義時代に解散を余儀なくさせられた大聖堂少年合唱団は、1970年に前大聖堂音楽監督である高位聖職者ライムンド・フーク博士によって再結成され、現在では、フライブルク大聖堂での典礼音楽担当という主課題以外に、ロンドンフィルハーモニー、南西ドイツ放送交響楽団、エルプフィルハーモニー交響楽団、フライブルク・フィルハーモニー交響楽団など、内外の著名なオーケストラからのオファー・共演も多く、2017年11月には、P. エドヴィッッシュ指揮にて、H. W. ヘンツェ作曲「メドーサの筏」を、ハンブルクの、オープンしたばかりのエルプフィルハーモニーで共演した。また、アカペラ及びオラトリオ作品における数多くのCD録音に加えて、ラジオ、テレビでの出演も多く、これらの音楽活動に対して多数の表彰及

び音楽賞を受賞している。2003年には、現音楽監督ボーリス・ベーマンが就任。ドイツはもとより、ヨーロッパ、カナダ、南アメリカ、オーストラリア等にて、国外演奏ツアーを数多くこなし、日本には、1995年以来、今回4度目の来日を果たす。

松山少年少女合唱団 Matsuyama Boys & Girls Chorus

松山少年少女合唱団は、少年合唱の素晴らしさを広めようと、松山市・松山道後ライオンズクラブ・南海放送の支援のもと1964年に設立された少年合唱団を前身として、1981年に少年少女合唱団に改編された。現在は小学1年生から高校3年生までの少年少女45名で構成されている。指導者はNHK全国音楽コンクールで優勝を重ねた愛媛大学教育学部附属小学校のコーラス指導者が代々受け持ち、松山の子どものための合唱活動を維持している。現在の指導者は、阪本佳子氏(1972年～ピアニスト、2011年～指揮者)と松井見磨氏(2014年～ピアニスト)である。「歌と心のハーモニー」をモットーに活動を行い、毎年3月に行われる定期演奏会をはじめ、全日本および愛媛県少年少女合唱連盟の合唱祭出演、オペラ公演への出演、各種イベントでの演奏、施設慰問演奏など数多くの活動をこなし、地域で愛される存在となっている。



アンサンブル・ヴォカペッラ・リンブルク(男声合唱) Ensemble Vocapella Limburg



2007年に設立されたEnsemble Vocapella Limburgはリンブルク大聖堂少年合唱団に共同の音楽的根源をもつリンブルク地域の若い男性からなり、Tristan Meisterの指導の下、ハイレベルな男声合唱に取り組んでいる。

この合唱団はブダペスト国際合唱コンクール(2013)、ヘッセン合唱コンクール(2013、シュリッツ)、ドイツ合唱コンクール(2014、ワイマール)、ヴァルナ国際合唱コンクール(2014)にて1位およびカテゴリー優勝するなど、多数のコンクールで目覚ましい成績を収めてきた。2012年にはデビューCD「In der Ferne」をリリースし、その後ドイツ合唱コンクールにおいては現代音楽特別賞に加え、RondeauプロダクションとのCDアルバム「Vom Werden und Vergehen」(2016年発売)の制作権を獲得し、更に2016、2017年には、Max Regerのアカペラ男声合唱曲全集の2枚組CD録音を世界で初めてリリースした。合唱団のレパートリーは全ての時代の宗教的・世俗的男声合唱曲を網羅しており、ルネサンス期作品から、定期的に著名な作曲家に委嘱した現代音楽作品の初演ま

で幅広い。この合唱団はこれらの特筆すべき榮譽により、定期的にドイツ国内外の演奏機会に招待されており、これまでにブラジル、アルゼンチン、パラグアイ、ハンガリー、ベルギー、ブルガリアそしてドイツ全土にて演奏ツアーを行ってきた。初来日となる今回は松山のほか東京、福岡で演奏する。メンバーは25名で、フライブルクバッハ合唱団員2名も参加している。

松山・フライブルク姉妹都市交流演奏会記録

(これまではフライブルクバッハ合唱団と松山バッハ合唱団による音楽交流)



第1回	1995年	松山	W.A.Mozart	レクイエム K626 (R.Levin版日本初演)
第2回	1998年	宇和島・松山	J.S.Bach	ヨハネ受難曲 BWV245 (愛媛初演)
第3回	2002年	広島・松山	J.S.Bach	口短調ミサ曲 BWV232 (愛媛初演)
第4回	2007年	松山	J.S.Bach	マタイ受難曲 BWV244 (愛媛初演)
第5回	2014年	松山	G.F.Händel	メサイア HWV56 (姉妹都市提携25周年記念)

